

栄進商事

1回使い切り美容オイル

「きれいゆ」で業界参入

健康関連事業や貿易・中国ビジネスを展開する栄進商事(本社大阪)は8月、国産コウネ馬油原液100%配合したスキンケアオイル「きれいゆ(輝驪油)」(1箱30粒入り3800円)を発売し、業界参入を果たした。

サプリメントで見られる他の馬油配合製品とのソフトカプセルにコウネ馬油を内包し1回使い切りの粒タイプに仕上げ、洗顔後や入浴後、通入代行から創業し、健康常のスキンケア前のプレローション用美容オイルとして提案している。成分の稀少性と期待できる効果「製品の形状や見た目へのこだわり」



新谷氏

2004年には、長寿食材で知られる砂漠人参「カンカ」原料を取扱い、栽培から抽出までの一貫が主力事業に成長している。08年には中国ビジネスのサポート事業を本格化し、日本健食専門店「気の道」を手がけ、自社製品を含む日本製健康食品の販売を行っている。また昨年からは現地ショップ「ピングモールの1フロア」を使用し、アパレル製品を中心に日本専門ショップのプロデュース業を開始した。今回の参入も、当初は主力の健食への配合を想定していたが、肌に対して期待できる効果から化粧品開発に転じたという。

コウネ馬油は、馬のタテガミ下の皮下脂肪を指し、食用馬1頭(約1000キロ)の馬油200キロのうち、わずか数キロ程度しか取れない稀少価値の高い馬油として知られている。また、化粧品原料として精製できるまで最低1年かかるという。その中でも熊本・阿蘇の食用馬から取れる国産コウネ馬油に限定し、特殊精製による臭いのない安全・安心品質のコウネ馬油を使用している。同社によると、コウネ馬油は人の皮脂に近い成分バランスをもっており高い保湿力が確認されているほか、動物性油脂の中でも融点が22・6℃と低く、肌のにせるとすっと溶けるため、皮膚への負担や塗布後のべとつき感がなく、肌浸透しやすい特徴があるという。さらに、一般の馬油にはないANP(心房性ポリペプチド)成分を含んでおり、皮膚の正常化や毛

髪の成長促進といった効果も期待できるといっている。そのため、位置づけはプレローションだが「残ったオイルをそのまま髪や身体にも使用してもいい」と(新谷満広報マネージャー)としている。同社は、そうした特徴や有効性をそのまま活かすため、「きれいゆ」には保存料や香料は使用せず、特許精製により臭いがなくコウネ100%の天然オイルに仕上げている。



る。また、酸化や紫外線などによる劣化や臭いが生じやすい馬油の品質・鮮度を保つために、ソフトカプセルに閉じこめられた。さらに、容器には湿気に弱い茶葉の保存法をヒントに、保存の利く缶を採用した。馬油配合製品はその保湿性の高さからエイジングケアをコンセプトに中高年層向けの商品が多いが、「メインターゲットとして30~40代女性を想定しつつ、オイルを苦手とする若年層ユーザーの獲得も目指して開発した」と(新谷氏)という。ソフトカプセルをハート型にし、容器と外箱には天使画で知られる画家・寺門孝之氏によるかわい

い天使のイラストを採用した。使い心地に加え、使う楽しさも訴求し、20代女性ユーザーの獲得もねらう。しかし中高年層の中には、馬油に対して臭い、ベタつくといった、昔前のイメージから抜け切れず、マイナスイメージが先行している女性も少なくない。「配合するコウネ馬油の特性や商品特徴をしっかりと伝えられる環境が必要。また、酸化に弱いため、テストで誘引するセルフ展開は難しい。店頭での推奨販売が理想的だが、まずは開発ストーリーを伝えやすく、ユーザーの声を拾えるWeb販売に注力していく」と(新

谷氏) 有効性が確認されていることから、将来的にはカンカを使用した化粧品開発も視野に入れているという。